

著作権に関する注意

本校の入試問題は著作権の対象となっており、著作権法で保護されています。
「私的使用のための複製」や「引用」など著作権法上認められた場合を除き、無断で複製・転用することはできません。

お断り

本校の入試問題中で引用した文章・文献等について、著作物保護の観点から一部掲載を控えた箇所があります。ご了承ください。

二〇二二（令和四）年度

東北学院高等学校入学試験問題

〈一般 A日程〉

国語

二〇二二（令和四）年二月一日（火）

九時～九時五〇分（五〇分間）

注意事項

- 一. 受験番号・氏名を解答用紙にはっきり記入しなさい。
- 二. 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。
- 三. 解答用紙だけを提出しなさい。

一

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(設問の都合上、一部本文を改めたところがあります。)

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

(伊藤進『聞く力』を鍛える』より)

問一 〓部①「台無し」、②「差しさわりの意味としてふさわしいものを次の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

①「台無し」

- ア いくら努力してもなんの効果もないこと
- イ 物事がすっかりだめになってしまうこと
- ウ 予想と大きく異なり失望してしまうこと
- エ 度が過ぎて正常に機能しなくなること

②「差しさわりの」

- ア 他にはない突出した長所
- イ 改善するための今後の課題
- ウ 不都合を生む望ましくない事態
- エ 歩み寄ることの難しい隔たり

問二 〓部①「会話におけるカラオケ現象」について、これはどのような状態を表していますか。その内容として最もふさわしい箇所を文中から十字程度で探し、抜き出して答えなさい。書き抜きたい箇所に句読点があれば一字とし、以下の設問でも同様とします。

問三 を補うのにふさわしい語を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア さて
- イ だから
- ウ 例えば
- エ しかし
- オ なぜなら

問四 〓部②「社会における認識のあり方」について、これはどのような認識のことですか。説明しなさい。

問五 (1) ・ (2) に入る語の組み合わせとしてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 1 受動的 2 能動的
- イ 1 能動的 2 受動的
- ウ 1 具体的 2 抽象的
- エ 1 抽象的 2 具体的

問六 〓部③「聞くことのほうがより大きな努力を必要とする」に関連して、本文の内容からすると「聞き上手」になるには具体的にどのようなことに注意するべきであると考えられますか。文中の語句を用いながら、四十字以上五十字以内で書きなさい。

二

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(設問の都合上、一部本文を改めたところがあります。)

次の文章は、昭和の終わり頃のある高校を舞台にした小説の一部である。この学校の美術部員たちは、学校に紛れ込んできた犬の「コーシロー」を成り行きでしばらく世話していた。

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

著作物保護のため掲載を控えます

(伊吹有喜『犬がいた季節』より)

問一 ——部(1)「話し合いの席」について、この場は何について話し合うことが目的ですか。説明しなさい。

問二 ——部(2)「一瞬、言葉に詰まった」について、なぜ言葉に詰まったのですか。その理由としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 話し合いが行き詰まり、すっかり困りはててしまったから。
- イ 話を聞いておらず、何を答えればよいか思いつかないから。
- ウ 思いがけず痛いところを突かれ、たじろいってしまったから。
- エ 誰が口火を切るのか見極め、タイミングを図っているから。

問三 ——部(3)「深く息を吸い、もう一度同じ言葉を繰り返した」について、「優花」がこの場面でこだわって発言しているのは、「コーシロー」に対するどのような思いがあるからだと考えられますか。文中の語句を用いながら、説明しなさい。

問四 本文中の()には、どのような言葉が入ると考えられますか。「居場所」という語を必ず用い、前後の表現を参考にしながら書きなさい。

問五 には「校長」が生徒たちに学んでほしいことが入ります。文中から漢字二字で書き抜いて答えなさい。

問六 次のA～Dは、文中のどの発言者について語っていますか。それぞれが語っている人物を後に挙げるア～エより一人ずつ選び、記号で答えなさい。

- A… 一步引いて議論を聞いていたようだけれど、的確な指摘で議論を前に進めた。ぶっきらぼうに見えて、実は犬好きなのかも？
- B… 容易に同意しようとはせず、慎重に判断を下そうとしているみたい。一人ひとりの発言をしっかり聞こうという様子がうかがえるね。
- C… その場にふさわしい発言の仕方を提案して、議論の進行の流れを作っている。人前で話をすることに慣れているようだね。
- D… 迷いながらも、自分の考えや疑問をまっすぐに表現しようとしているようだ。自分の発言を後悔しているようにも見えるけれど……。

ア 藤原貴史

イ 塩見優花

ウ 早瀬光司郎

エ 校長

三

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(設問の都合上、一部本文を改めたところがあります。)

能因のういんはいたれる数寄者※すきものなり。

A 都をば霞かすみとともに立ちしかど秋風ぞ吹く白河※しらかはの関せき

とよめりけるを、都にありながら、この歌を出さむこと、無念と思ひて、人にも知られず、久しく籠り居て、色を黒く、日にあぶりなしてのち、「陸奥※みちのくの方へ修行のついでによみたり」とぞ披露し 。

(『十訓抄』より)

【和歌現代語訳】

都を霞の立つ春に旅立ったけれど、(長い旅路だったので)もう秋風が吹いているよ、この白河の関は。

※数寄者……風流な人。物好きな人。

※白河の関……現在の福島県白河市にあった関所。

※陸奥……現在の東北地方を指す古名。

問一 Aの和歌は、どこで作られたものですか。古文中より書き抜いて答えなさい。

問二 ——部(1)「思ひ」を現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで書きなさい。

問三 ——部(2)「人にも知られず、久しく籠り居て、色を黒く、日にあぶりなして」について、「能因」がこのような行動を取ったのはなぜですか。説明しなさい。

問四

を補うのにふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア けら イ けり ウ ける エ けれ

四

次の①～⑤の——部のカタカナを漢字に直し、⑥～⑩の——部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- ① 進路をボウガイする。
- ② 代金をセイキユウする。
- ③ 先輩をシタう。
- ④ 目標にトウタツする。
- ⑤ 自己シヨウカイから始める。
- ⑥ 新作が称賛される。
- ⑦ 生徒を伴う旅行。
- ⑧ 一次試験を免除する。
- ⑨ 校歌を斉唱する。
- ⑩ 大勢で騒ぐ。

